

柏市オフィシャル子育て情報アイテム

子育てサイト「はぐはぐ柏」

問：子育て支援課 TEL 04-7168-1034

子育てについての制度や手当、保育園、健康などの情報は子育てサイトでチェック。遊び場やイベント、地域のサークルや団体の情報も検索できます。スマホやパソコンで「はぐはぐ柏」を検索！



かしわこそだてハンドブック

問：子育て支援課 TEL 04-7168-1034

柏の子育ての基本情報がぎっしり。こども部（市役所別館3階）、沼南支所窓口サービス課（沼南支所1階）、保健所地域健康づくり課（ウエルネス柏3階）、市内各近隣センター・児童センター・はぐはぐひろば沼南、はぐはぐひろば若柴、地域子育て支援センターなどで配布しています。



LINE@

問：子育て支援課 TEL 04-7168-1034

市の制度情報・遊び場・イベントなど子育てサイト「はぐはぐ柏」に掲載されている最新情報をLINEでお届けします。



電子親子手帳

問：地域健康づくり課 TEL 04-7167-1257

スマホ・タブレット用アプリでお子さんの成長記録・予防接種の管理を便利にできます。



かしわメール配信サービス

問：広報広聴課 TEL 04-7167-1175

災害、防災・安全、保健・健康、イベント情報等を市からメールでお届けします。



広報かしわ

問：広報広聴課 TEL 04-7167-1175

毎月1日・15日に発行。市のニュースを幅広く効率よく知ることができます。新聞折込の他、無料配達あり。柏市オフィシャルホームページから、電子版も見られます。

Last Messages from Touch (あとがき)

TouchでTouchしたひとびと

石塚美保
今泉永子
植木央乃
植木将臣
植木美琴
上野厚子
大隣裕子
大堀昌代
西藤章浩
西藤尚子
関川都代
高橋史成
恒岡真由美
所 英明
原田圭子
樋口公了
平田碧人
平田花音
平田美双乃
三好玲子
矢澤かづあ
渡邊早紀

アンケートにご協力くださったみなさん
取材にご協力くださったみなさん

今回「Touch」作りに参加して、よかったことが3つあります。1つは、柏の素敵な人達にたくさんお話を聞いたことです。「子どもはママが笑っていれば絶対大丈夫」「それでいいの」といった言葉が、日頃の子育ての「これでいいのかな？」という不安を「大丈夫なんだ！」という安心に変えてくれました。今のママは、「大丈夫！」といってもらう機会が少なく、いつも不安と戦いながら子育てをしていると思うので、たくさんママに、この言葉が届くといいな、と思います。2つ目は、取材をして写真を撮ったり、記事を書いたりして、冊子を作る経験ができたことです。子どもを連れて集まるのも大変、ということでもネット会議に参加したりもしました。3つ目は「Touch」を作った皆さんに出会えたことです。子どもがいると、何かと行動に制限がかかりがちですが、子どもと一緒に活動することもできるんだな、と嬉しく思いました。子育ては、一人じゃできません。私は、できません！ たくさんの人と「Touch」しながら、また他のことにも楽しくチャレンジしていきたいと思っています！（平田）

冊子作りを通してたくさんの方と出会い、またたくさんのお話を聞くことが出来て、本当に良かったです。柏で子育てをして3年になりますが、まだまだ知らないお店やサークルがたくさんあるんだなあと改めて思いました。そして、「知らないことは勿体ない」と思いました！ この「Touch」作成も、皆さんそれぞれ他の仕事をされている中、空いている時間に会議をしたり、取材を



したり。柏にはこんなにも子育て中の私たちを応援してくれている人達がいるんだと嬉しくなりました。そして、これからもっともっと、柏が子育てしやすい街になって欲しいと思います！（植木）

上の子が生まれた14年前。今のように情報が届きやすい環境でなかった時代。手のかかる乳幼

児期の子育てを過ぎてから「その時に知っていたら、会っていたら良かった。」と思う場所、人が多々ありました。そんな時を経て、今再スタートした下の子の育児は、手探りながらもこれまで積み重ねた「素敵な場所・人」に囲まれて心地よく過ごしています。そんな自分自身の経験から、今回の冊子づくりが「上の子を育てていた時の私があったらいいな、という情報を今同じ思いを持つママたちに届けられたらいいな。」と想い携わらせて頂きました。子育てを応援する温かい力を受けとって豊かな子育てを楽しんでいただけたらと願います。（西藤）

自分たちの情報冊子を作ろう！なんてつい乗っちゃったけど、いざ作るとなると、何をどう載せるのか、他とのバランスは、など、難しいことばかり。でもみんなであーでもない、こーでもないとい話するのは楽しかった。ママたちのバイタリティと、こっことさんの熱意、Tさんのたゆまぬ作業のおかげでできあがりしました。現代のすばらしいところはアップデートがすぐできること。これをもとに進化形ができたらいいなと、すでにワクワクしています。（原田）

「タイトル、どうしようか...」

みんなで考えていくつか候補は出てきたものの、すんなり決まったのが、この「Touch」。いろんな思いを込められる言葉だったから、そう決めました。

編集会議は、赤ちゃん連れのママたちはじめ、子育て一段落世代までの幅広い年齢層がジェネレーションギャップをいい感じに埋め合いながら進めていきました。たった20数ページの小冊子を作るのに、どれだけの出会いと学びがあったかは計り知れません。

この冊子作りを通じて感じた出会いと学び。そ

れこそが子育て中の方や、子ども・子育てを応援する方たちが感じている課題を解決するネットワークづくりなのかも知れない。きっとそうだ！との思いを、私たちは今、強く感じています。

みんなで作った「Touch」。

子どもとお出掛けするならば、子どもと離れて過ごすならば、身近な地域のいろんな方たちと出会うならば、などなど... 関わった皆さんの力で子育て中の日々の生活のワンシーンに寄り添う内容になりました。

さあ、Touchしに行こ！

(かしわ子育てまちづくりネットワーク・ここっと)